

2025 年度 看護師特定行為研修
第 7 期生 募集要項

亀田総合病院

特定行為研修の目的・目標

亀田メディカルセンターは、豊かな人間性を備え、優れた看護実践を提供するとともに、主体的に自己のキャリア開発を目指す看護職を育成することを目的としています。

また、少子高齢化社会において、急性期から在宅まで、様々な領域で患者の状態を見極め、ニーズに迅速かつ効果的に対応するために、特定行為を活用して看護の専門性を発揮する看護師を育成することを目標としています。

募集区分・領域別パッケージ

注：受講希望者が少ない区分・領域別パッケージについては、開講しないことがあります

<単区分>

・呼吸器（気道確保に係るもの）関連	若干名
・呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	若干名
・呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	若干名
・ろう孔管理関連	若干名
・栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	若干名
・栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	若干名
・創傷管理関連	若干名
・創部ドレーン管理関連	若干名
・動脈血液ガス分析関連	若干名
・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	若干名
・血糖コントロールに係る薬剤投与関連	若干名
・循環動態に係る薬剤投与関連	若干名
・循環器関連	若干名
・胸腔ドレーン管理関連	若干名
・腹腔ドレーン管理関連	若干名
・術後疼痛管理関連	若干名

<領域パッケージ>

・在宅・慢性期領域パッケージ	4名
・外科術後病棟管理領域パッケージ	5名
・救急領域パッケージ	4名
・集中治療領域パッケージ	5名

研修スケジュール

2025年9月 ～ 2026年8月までの1年間

- 2025年9月 ～ 2026年1月（予定） 共通科目：e-learning、講義（演習）、試験
- 2026年1月 ～ 2026年8月（予定） 区分別科目：e-learning、講義（演習）、試験、OSCE、実習

*共通科目・区分別科目の講義は、原則毎月2回土曜開催（開催回数が増える場合もあります）

*区分の実習は、原則平日（選択区分により実習日程は異なります）

研修場所

亀田総合病院にて行います

- 講義（演習）・試験・OSCE：研修棟、CSS（シミュレーション）センター
- 実習場所：ICU、ER、各病棟、画像センター、手術室

科目と教育方法および時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為ごとに学ぶ「区分別科目・領域パッケージ」に分かれており、「共通科目」を修了したのち「区分別科目・領域パッケージ」を履修します（共通科目のみの受講はできません）。e-learning を中心とした講義、演習、実習により行われます。

1) 共通科目（9月～1月予定）※必修科目

- ・e-learning を中心とした講義および演習を受講し、各科目の試験に合格する必要があります

共通科目名	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	45 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学／特定行為実践	45 時間
合計時間数	250 時間

2) 区分別科目・領域パッケージ（1月～8月予定）

- ・e-learning を中心とした講義（演習）を受講し、各区分の筆記試験、及び OSCE に合格後に実習へ進み、最終評価として観察評価を実施します。
- ・単行為のみでの受講はできません

例) 動脈血液ガス分析関連を受講する場合、「直接動脈穿刺による採血」と「橈骨動脈ラインの確保」2行為の受講が必須です。どちらか1行為のみを受講することはできません。

- ・領域別パッケージの場合、領域毎に定められている一部の特定行為の研修の実施が免除されます
- 例) 在宅・慢性期領域を受講する場合、「膀胱ろうカテーテルの交換」「創傷に対する陰圧閉鎖療」「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」は除外、必要最小限の4行為だけを受講します。

区分・領域別パッケージ一覧

特定行為区分	特定行為	区分単位 (時間)	領域パッケージ (時間)			
			在宅	外科術後	救急	集中治療
呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9		9	9	9
呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	29		17	29	23
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更					
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整					
	人工呼吸器からの離脱					
呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連	気管カニューレの交換	8	8			
循環器関連	一時的ペースメーカの操作及び管理	20				8
	一時的ペースメーカーリードの抜去					
	経皮的心臓補助装置の操作及び管理					
	大動脈内バルーンポンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整					
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 胸腔ドレーンの抜去	13		13		
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去 (腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む)	8		8		
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 膀胱ろうカテーテルの交換	22	16			
栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連	中心静脈カテーテルの抜去	7		7		7
栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	8		8		
創傷管理関連	褥創又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陽圧閉鎖療法	34	26			
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	5		5		
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺による採血 橈骨動脈ラインの確保	13		9	13	9
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	16	11	11	11	
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	16				
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8		8		
循環動脈に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	28		16		20
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整					
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整					
	持続点滴中の植質輸液又は毛酸質輸液の投与量の調整					
	持続点滴中の利尿剤の投与量の調整					
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗いん剤の臨時的投与	26			14	
	抗精神病薬の臨時的投与					
	抗不安薬の臨時的投与					
区分別科目合計時間数			61	119	76	76
合計時間数 (共通科目+区分別科目) 時間			311時間 +各5症例	369時間 +各5症例	326時間 +各5症例	326時間 +各5症例
合計行為数			4	15	9	10

応募資格

1. 看護師免許を有すること
2. 看護師の免許取得後、通算 5 年以上の実務経験を有していること
3. 所属長の推薦があること
4. 演習・実習・試験のために、当院に通えること

応募方法

応募期間 2025 年 4 月 1 日～4 月 18 日 必着

応募書類 (以下書類をメールにて PDF でお送りください)

1. 受講申請書 (様式 1)
2. 履歴書 (様式 2)
3. 推薦書 (様式 3)
4. 看護師免許証の写し
5. 認定看護師認定証もしくは専門看護師認定証の写し (有資格者のみ)

応募書類送付先 E-mail : watanabe.nana@kameda.jp
※メールでの提出が難しい場合はご相談ください

選考方法 書類審査、オンライン面接（面接日は要相談）
応募多数の場合は、書類選考し面接者を決定します

選考結果 2025年5月中にメールでお知らせします

受講料

- ◆ 入学金：20,000円（テキスト代込み）
 - ◆ 共通科目＋領域パッケージまたは区分の合計金額を受講料とします
 - ・ 共通科目受講料：亀田グループ職員 150,000円（税込）・外部受講者 300,000円（税込）
 - ・ 領域パッケージ・単区分科目受講料は以下の表を参照
- 例）外部受講者受講料 共通科目 300,000円＋救急領域パッケージ 330,000円＝630,000円

詳細については、選考終了後に受講決定者にご案内します

お振込み手数料は受講者負担となります、一旦納めた受講料は原則として返金いたしません

また、受講にあたっては看護協会の賠償責任保険に加入して頂きます

* 再試験・追試験受験料や受講期間内で修了認定が受けられない場合、追加受講料が発生します

* 研修のための宿泊費、交通費は自己負担となります

* 本研修は、教育訓練給付制度（一般教育訓練）の対象ではありません

2025年度 領域パッケージ・区分別科目 受講料

科目名	パッケージ・区分	時間	亀田グループ職員	外部受講者
共通科目 受講料		250	150,000円	300,000円
領域パッケージ	在宅・慢性期領域パッケージ	61	80,000円	240,000円
	外科術後病棟管理領域パッケージ	119	210,000円	630,000円
	救急領域パッケージ	76	110,000円	330,000円
	集中治療領域パッケージ	76	120,000円	360,000円
	術中麻酔管理関連 (気道、人工、血ガス、CV、栄養・水分、疼痛、循環動態)	103	160,000円	-
	特定行為看護師外来関連 (ろう孔、創傷)	56	60,000円	-
	病棟人工呼吸器導入関連 (気道、人工、長期)	46	50,000円	-
	特定行為新生児関連 (気道、人工、CV)	45	50,000円	-
区分別科目	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9	10,000円	30,000円
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	29	30,000円	90,000円
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8	10,000円	30,000円
	循環器関連	20	20,000円	60,000円
	胸腔ドレーン管理関連	13	20,000円	60,000円
	腹腔ドレーン管理関連	8	10,000円	30,000円
	ろう孔管理関連	22	20,000円	60,000円
	栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連	7	10,000円	30,000円
	栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連	8	10,000円	30,000円
	創傷管理関連	34	30,000円	90,000円
	創部ドレーン管理関連	5	10,000円	30,000円
	動脈血液ガス分析関連	13	20,000円	60,000円
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16	20,000円	60,000円
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16	20,000円	60,000円
	術後疼痛管理関連	8	10,000円	30,000円
	循環動態に係る薬剤投与関連	28	30,000円	90,000円
	精神及び神経症状にかかる薬剤投与関連	32	30,000円	90,000円

受講申請書

【亀田総合病院 特定行為研修】

私は、亀田総合病院 特定行為研修

- ・ 共通科目
- ・ 区分別科目

を受講いたしたく、ここに関係書類を添えて申請します。

西暦 年 月 日

フリガナ

氏名 (自署)

印

西暦 年 月 日 生

現住所 〒

TEL

志望理由書

氏名

特定行為研修受講を希望した理由

受講希望の領域別パッケージ、または区分に○を付けてください（上限5区分まで）

受講希望	特定行為区分名
	在宅・慢性期領域パッケージ
	外科術後病棟管理領域パッケージ
	救急領域パッケージ
	集中治療領域パッケージ
	呼吸器（気道確保に係るもの）関連
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
	呼吸器関連（長期呼吸療法に係るもの）関連
	ろう孔管理関連
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型カテーテル管理）関連
	創傷管理関連
	創部ドレーン管理関連
	動脈血液ガス分析関連
	栄養及び水分に係る薬剤投与関連
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連
	循環動態に係る薬剤投与関連
	循環器関連
	胸腔ドレーン管理関連
	腹腔ドレーン管理関連
	術後疼痛管理関連

履歴書

西暦 年 月 日現在

正面上半身
(40×30mm)
3か月以内に
撮影したもの
裏面に氏名を記入

フリガナ		男 女
氏 名		印
生年月日	西暦 年 月 日生 (満 歳)	

フリガナ			携帯 TEL :		
現住所	〒			E-mail :	
フリガナ			勤務部署		
所属施設名			*正式名称を記入すること		
所属施設 住 所	〒			TEL	
職歴	施設名	職種	職務期間		
			西暦	年	月 ~ 年 月
			西暦	年	月 ~ 年 月
免許取得年月日	保健師	西暦	年	月	日 号
	助産師	西暦	年	月	日 号
	看護師	西暦	年	月	日 号
認定看護師資格分野名 _____分野	認定看護師資格取得年	西暦	年	月	日 認定登録番号 号
専門看護師資格分野名 _____分野	専門看護師資格取得年	西暦	年	月	日 認定登録番号 号
看護協会賠償保険加入	有 (加入 : 西暦 年 月) 無				
当院への通学手段など	電車・バス・自家用車 / 演習・実習時の宿泊予定 有・無				

推薦書

亀田総合病院院長

亀田俊明様

_____を以下の理由により、貴院特定行為研修生として推薦致します。

(推薦理由)

西暦 年 月 日

施設名
推薦者職位
推薦者氏名